



114  
A 1043



目錄

紙幣會社創立ノ事

株金ヲ募ルノ逆法

紙幣會社定款文例

全 奧書文例

會社創立證書文例

紹介狀ノ事

取締役ノ事

取締役ノ誓詞文例

會社役人并取締役ノ證書文例

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

紙幣會社成規

大藏省

紙幣會社

紙幣會社創立ニ付心得ハキ件々

公債證書預メ方ノ事

開業免狀ノ事

開店ノ事

元金ノ事

元金月賦入金ノ事

元金集高證書文例

元金増減ノ事

元金増集證書文例

元金減少證書文例

發行紙幣注文ノ事

注文書文例

紙幣發行ノ事

旧紙幣焼捨并新紙幣請取方ノ事

旧紙幣ヲ差出スニ付添書文例

公債證書利息請取方ノ事

名代委任狀文例

紙幣會社報告ノ事

用紙ノ事

申合規則ノ事

紙幣會社

紙幣會社

申合規則文例

紙幣會社ノ頭取支配人取締役等一同ノ心得トシテ申諭ス諸件

紙幣會社記録ノ事

商業取扱ノ事

貸附金ノ事

役人ノ事

元金ノ事

諸務取扱ノ事

○追加規則

紙幣會社役人上任規則

上任報告文例

紙幣會社ヨリ差出タル敗裂紙幣ノ引替并

燒捨ノ條規

紙幣會社ヨリ差出スヘキ報告并書面ノ覺

紙幣會社成規

○紙幣會社創立ノ事

凡ソ紙幣條例ノ規則ニ從テ紙幣會社ヲ結ハ  
ト欲スル者ハ須ラク左ノ條々ヲ心得テ會社  
創立ノ手續ヲナシ其商業ヲ經營スル事ヲ謀  
ルヘシ

紙幣會社ヲ結ハント欲スル者ハ先ツ五人以上ニ

テ申合セ中間ヲ結ヒ連印ノ願書ヲ認<sub>上五人以</sub>ノ

名ニテ<sub>モ</sub>總代<sub>ノ</sub>印紙幣會社ヲ創立致シ<sub>度趣ヲ</sub>東

京大藏省ノ紙幣頭ヘ申立ヘシ

但シ東京ヨリ遠隔ノ地方ハ此願書ヲ郵便飛脚便ニテ差出シテ苦シカラス

紙幣頭ヨリ願ノ通り何州何郡何地ニ於テ元金何萬圓ノ紙幣會社ヲ創立スル事ヲ許スニ付テハ會社定款ヲ差出スヘシトノ答書アルヘシ○願人等此答書ヲ落手イタサハ直様株金ノ募方ニ掛ルヘシ

一株金ヲ募ルノ法ハ新聞紙或ハ張紙ノ類ニテ便宜ニ任セテ世上ニ公布シ何州何郡何地ニ紙幣會社ヲ創立スルニ付其仲間ニ加入セレド欲スル

人々ハ何月何日ニ何街何屋ニ来ルヘシ發起人何ノ誰々等ト記載スヘシ

一當日ニ至リテ右ノ何街何屋ニ於テ發起人等帳面ヲ開キ此會社ノ仲間ニ加入セント申込タル人々ノ姓名并入金スヘキ金高ヲ此帳面

ニ書込ニ何月何日迄ニ入金スヘシト取定ムヘシ  
一會社ニ加入スル入金ノ高ハ百圓ヲ以テ一株ト唱ヘ何ノ誰ハ幾株ト唱フヘシ尤株數ノ多少ハ

入金人ノ望ニ任スヘシ  
一入金ノ當日ニ至リテ入金人ヨリ各々書込タル

金高ヲ發起人方ニ持參スヘシ全高ヲ入金スル  
氏或ハ半高ヲ入  
 金スル氏先前ヨリノ○發起人ハ此入金人ニ金  
 約束ニ從フヘシ  
 子引替ニテ會社仲間ノ株手形ヲ渡スヘシ百圓  
ニ舟手形一枚ト定ム故ニ千圓ヲ入  
 金シタル人ニハ株手形十枚ヲ渡ス○於是此入  
 金人ヲ某紙幣會社ノ株主ト唱フヘシ

此株金募方ノ手續ハ其大要ヲ示スノニ社ヲ  
 結フ人々ノ便宜ニ任スヘシ故ニ紙幣頭ヨリ  
 別ニ其規則ヲ設ケル

株金ヲ募リ初メハ紙幣條例ノ第五條ニ從ヒ會社  
 定款ヲ二通ニ認メ一通ハ會社ニ藏メ置一通ハ

之ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ  
 會社定款ノ文例如左

紙幣會社定款

大日本政府ノ公債證書ヲ引當トシテ紙幣ヲ發  
 行シ之ヲ通用シ之ヲ引替ユル儀ニ自明治 年  
 月 日大日本政府ニ於テ許可シタル紙幣條  
 例ノ趣意ニ基キ新ニ紙幣會社ヲ創立スル為ニ  
 會社ノ株主等協議ノ上決定スル條々如左

第一條

此會社ノ名号ハ一一紙幣會社ト称ス可シ

第二條

此會社ノ公鋪ニテ貸附金預リ金等一切會社ニ關係ノ事務取扱所ハ一一州一郡一一街ニ取建ルヘシ

第三條

此會社ノ取締役ハ十株以上ヲ所持スル株主ノ内ヨリ撰挙スヘシ其撰挙ノ初集議ハ一月一日一一街一一ニ於テスヘシ事宜ニヨリテハ此書面ニ連名ノ株主等ノ衆議ニ從ヒ追テ其日

ヲ取定ムヘシ

第四條

取締役ヲ撰挙スヘキ定式ノ會議ハ毎年正月十日ヲ定日トシ株主等十會社ニ集リテ議スヘシ

但當日故障アリテ集會セサル時ハ紙幣條例第

十條ニ從ヒ他日ヲトスヘシ尤モ此撰挙ハ右

ノ條例ニ齟齬セサル様ニ取締役ノ取極メタ

ル規則ニ從フテ之ヲ行フヘシ

第五條



此會社ノ元金ハ 萬 千圓ト取定メ百圓宛ヲ以テ一株トスヘシ

但紙幣條例第十三條ニ後ヒ此元金ヲ増加シテ 萬 千圓迄ニ至ルヲ得ヘシ元モ元金増加ノ節ハ株主等ハ銘々ノ株數ニ從ヒ其割合ニ准シ増株ヲ書込ムヘキ理アルヘシ

第六條

取締役ノ衆議ニテ其中ヨリ一人ヲ撰ミ之ヲ頭取トナス此頭取ハ規則ニ後ヒ年限中之ヲ勤ムヘシ

但頭取クル者已レ其任ニ堪ヘサル欵或ハ取締役等ノ三分ニ以上ノ存意ニ依リテ退任セシムル時ハ此例ニ非ス

取締役等ハ又其内ヨリ副頭取一人ヲ撰舉スヘシ  
取締役等ハ又會社ノ事務ヲ取扱フヘキ支配人并ニ書記勘定方帳面方等ノ役人ヲ撰任スヘシ  
取締役等ハ又右ノ諸役人等ノ給料ヲ取定メ衆議ノ上ニテ會社ノ得失ヲ考ヘ或ハ此役人等ニ重手ヲ命シ或ハ之ヲ放免スルノ權アルヘシ

取締役等ハ又會社ノ書記及ヒ役人等ノ職掌ヲ分課シ其身元ノ引受人ヲ約シ罰金ヲ預定スルノ權アルヘシ  
取締役等ハ又向後ノ取締役撰挙ノ法ヲ定メ此撰挙ノ衆議ニ異論起ル時ハ之ヲ裁決スヘキ裁判人ヲ取定ムルノ權アルヘシ  
取締役等ハ又兼テ申立置タル會社ノ元金ノ增高ヲ定メ其増金ノ手續ヲ設ケ置ノ權アルヘシ  
取締役等ハ又紙幣條例第十條ニ掲ケタル適任ノ職務ヲ取行フノ權アルヘシ

取締役等ハ又紙幣條例第十條ニ從ヒ會社ノ處務ニ緊要ナル申合セ規則ヲ議定スルノ權アルヘシ

此會社ノ株主等ハ何等ノ事故アルモ取締役ノ承認ヲ得スシテ其株ヲ賣渡ス可ラサル趣ヲ申合規則中ニ記載スル事ハ取締役等ノ權内ニア  
ルヘシ

### 第七條

此會社ハ創立證書ヲ調印シタル日ヨリ之ヲ永續スヘシ但シ紙幣條例一後ヒ三分二以上ノ株

主等ノ存意次第ニ此會社ヲ鎖ス事ヲ得ヘシ尤  
モ株主等ハ一同ノ利益ヲ謀リテ會社ヲ鎖店ス  
ルノ理アリト雖モ其手續ハ都テ紙幣條例ニ從  
テ之ヲ行フヘシ

第八條

此會社定款ハ株主等ノ衆議ヲ以テ何時ニテモ  
之ヲ改正スル事ヲ得ヘシ尤モ紙幣條例ニ齟齬  
ス可ラス  
此改正ハ取締役等或ハ株主等三人以上ニテ立  
議シ株主等一同ノ集會ヲ乞フテ決議スヘシ

右ノ條々ヲ取極タル證據トレテ姓名ヲ記シ調  
印イタシ候也

明治一年一月一日

右ノ定款ハ二通トモ頭取并ニ支配人之ニ與書ヲ

加フヘシ其文例如左

紙幣頭ハ差出スヘキ本紙ノ與書

右一紙幣會社定款ハ之ヲ二通ニ認メ其一通  
ハ即チ此書面ナリ他ノ一通ハ同文言ニテ慥ニ  
之ヲ會社ニ藏メ置タリ仍テ之ヲ保証イタシ候

也

明治一年一月一日

頭取 名印

支配人 名印

會社ニ藏メ置ヘキ和寫ノ奥書

右ハ一一紙幣會社定款本紙ノ正寫ナリ本紙ハ規則ノ通り之ヲ紙幣頭ニ差出シタリ仍テ之ヲ保証イタシ候也

明治一年一月一日

頭取 名印

支配人 名印

其後株主等ハ會社創立證書ヲ認ムヘシ其文例如左

會社創立證書

大日本政府ノ公債證書ヲ引當トシテ紙幣ヲ發行シ之ヲ通用シ之ヲ引替ユル義ニ付明治 年 月 日大日本政府ニ於テ許可シタル紙幣條例ノ趣意ニ基キ紙幣會社ヲ創立シ其商業ヲ經營セント謀リ此證書第四條ニ連名シタル者共協力シテ此社ヲ結ヒ左ノ創立證書ヲ取極メ候

紙幣會社

也

第一條

此會社ノ名号ハ——紙幣會社ト称スヘシ

第二條

貸附金預リ金等ノ商業ヲ經營スヘキ此會社ノ  
公店ハ——州——郡——街——ニ取建ル  
ヘシ

第三條

此會社ノ元金ハ——萬——千圓ニテ百圓ヲ以テ一  
株ト定メ——株ニ分割スヘシ

第四條

此會社ノ株主等ノ姓名宿所并ニ所持ノ株數ハ  
左ノ表ノ如シ

株主姓名	宿所	株數

紙幣會社

三

大蔵省

第五條

此證書ハ紙幣條例ニ基キ我輩一同ノ利益ヲ謀ル為ニ取極メタリ

右ノ證據トシテ我輩一同姓名ヲ記シ調印イタシ候也

明治一一年一月一日

株主等連名印

何ノ誰何ノ誰等本日余カ眼前ニ来リ右ノ創立證書ヲ書面ノ通りニ認メタル趣ヲ正實ニ申立タリ

右ノ證據トシテ姓名ヲ記シ當局ノ官印ヲ鈴ス

明治一一年一月一日

地方官負名印

地方官  
廳ノ印

此創立證書ハ紙幣會社ヲ結フニ付政府ト共會社トノ約定書ニ比シキ大切ノ書面ナリ又會社定款ハ全ク會社仲間ノ取極ナレハ政府ニ關係ア

ルニ非ス株主等ハヨク此別ヲ心得ヘシ  
此創立證書ノ寫ニハ紙幣頭之ニ與書官印ヲ加  
ヘテ會社ニ渡シ會社ニテ之ヲ藏メ置ク

附紹介状ノ事

紙幣會社ヲ結ハント欲スル者前文ノ手續ニナ  
スヘキ事相當ノ儀ナレト身許問合セ等ニ時日  
ヲ費スノ患アリ故ニ願人等ノ身許ヲ請合ヒタ  
ル紹介状ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ此紹介状ハ其  
地方ノ高官ニテモ又ハ有名ナレ庶人ニテモ差  
支ナシ

願人等ハ會社創立ノ願書ト右ノ紹介状ト前文

ノ會社定款ト三通ヲ一時ニ紙幣頭ニ差出スヘ  
シ然ル時ハ手数ヲ省キ開業ノ期モ自カラ速ト  
ルヘシ

但シ此事ハ會社ヲ結フヘキ仲間ノ輩ノ便宜ニ  
任スナレハ前文ノ手續ヲナサハ猶適正ナル  
ヘシ

○取締役ノ事

會社ノ株主等ヨリ創立證書ヲ差出シ畢ラハ會社  
定款ノ趣意ニ基キ株主等集會シテ取締役ヲ撰  
挙スヘシ撰挙ノ月日場所ハ會社定  
款ノ條中ニ記載シタリ  
但此前提ニ既ニ取締役ヲ撰挙シ畢ラハ別段之ヲ  
行フニ及ハス

右ノ撰挙ニ應シタル取締役ハ直チニ誓紙ヲ認メ  
遲滞ナク之ヲ紙幣頭ニ差出ヘシ其文例ハ即チ  
如左取締役等數人一紙アリテ誓紙ヲ書スル時ハ  
文中聊カ字句ノ異同アリテモ差支ナルハ

取締役ノ誓詞

州 郡 街 紙幣會社

ノ取締役何之誰謹テ左ノ條々ヲ誓フ

余ハ州ノ民籍ニテ州 郡 街

ニ居住イタスニ相違無之事

當會社ノ事務ヲ處分スルニ付余カ關係ノ事掌

ハ謹直ニ取扱フヘキ事

當會社創立ニ付紙幣條例ノ趣意ハ一個不ダリ

凡漫ニ之ヲ犯ス間敷又他人ヲシテ犯サセ間敷



株式會社月知

事

條例ノ趣意ニ從ヒ余ハ當會社ノ株高帳ニ書込タル通り元金中ノ十株ハ余力自カヲ以テ所持スルニ相違ナキ事

右ノ株ヲ質入イタシ或ハ借財ノ引当ニ向テ置テハ決シテ不致候也

某州某府縣 某會社 取締役 何ノ誰名印

明治 年 月 日 書面 者 余力眼前ニ於テ調

印シ誓ヲ致シ候也 地方官員 名印

地方官廳ノ印

右ノ取締役ニ撰挙セララルヘキ人ハ元金ノ小株ハ

是非トモ自カニテ所持スヘシ但シ株主等ノ中ニ適當ノ人オアリテ一同ノ衆議此人ヲ撰フト

雖モ右ノ十株ニ不足ナル故ヲ以テ取締役ニ舉カタクキ時ハ其人ヲシテ十株丈ニ増株ヲナサシ

メテ後ニ改テ取締役トナスヘシ

右ノ取締役ヲ撰挙シ畢ラハ此撰挙ニ應シタ

締役等ノ衆議ニテ其内ヨリ一人ヲ撰ミテ以テ

トナスヘシ又支配人ヲ撰シテ之ヲ命シ書記

其外ノ役人ヲモ命スヘシ 支配人ハ會社ノ商業

株式會社月知

共

大 蔵 省

紙幣會社

須テ夫ク熱煉ノ主人ヲ撰ヨリハシ他ノ人ニテモ差支  
 限ルニ非ス  
 會社ノ元金ヲ書込タル株主等追々ト入金シ其集  
 リ高元金ノ五割五万圓ノ元金ナラハニ至ルハ  
 頭取或ハ支配人并ニ取締役連印ノ證書ヲ紙幣  
 頭ニ差出スヘシ其文例ハ即チ如左

會社役人并ニ取締役ノ證書

大日本政府ノ公債證書ヲ引當トシテ紙幣ヲ發  
 行シ之ヲ通用シ之ヲ引替ユル儀ニ自明治一  
 月一日大日本政府ニ於テ許可シタル紙幣條

例ノ趣意ニ基キテ新ニ創立シタル一州一郡  
 ノ紙幣會社ノ頭取何ノ誰支配人何ノ誰  
 取締役何ノ誰何ノ誰何ノ誰何ノ誰何ノ誰  
 謹テ左ノ條々ヲ保証ス  
 當會社永久ノ元金トシテ一萬一千圓ノ高ハ  
 既ニ株主等ヨリ之ヲ當會社ニ入金イタシ候事  
 取締役等ノ宿所并ニ株數ハ左ノ表ノ通りニ相  
 違ナキ事

取締役姓名	宿所	株數

紙幣會社

大藏省

支店  
人  
本  
天

當會社ハ開業ノ免許ヲ得ヘキ前ニ履行スヘキ  
條々ハ紙幣條例ヲ遵奉シ一々之ヲ取行ヒタル  
ニ相違無之候也

頭取  
支配人

取締役

書面 | 紙幣會社ノ頭取 | 支配人  
取締役 | 余カ眼前ニ於テ右ノ證書ニ記載シタル件々ハ

式  
會  
土  
成  
見

大  
成  
省

紙幣會社所定

確實ナル趣ヲ申立各々姓名ヲ記シ誓ヲナシ候也

明治一年一月一日 地方官員

地方官  
廳ノ印

此書面ニ調印スヘキ取締役ハ三人以上ノ連印ニテ差支ナシ

○紙幣會社創立ニ付心得ヘキ件々如左

- 一 紙幣條例第六條ニ記載シタル如ク凡ソ新創ノ會社ノ社号ハ紙幣頭ノ承認ヲ得テ之ヲ通稱トナスヘシ會社ヲ新創セント欲スル發起人ハ預シメ其社号ヲ撰ミ證書類ヲ差出ス前ニ其社号ヲ紙幣頭ニ伺フヘシ
- 一 會社定款并ニ創立證書ニ名印スル輩ハ姓名ヲ正記シ其實印ヲ押スヘシ
- 一 創立證書ニハ必ラス地方官ノ真書與印ヲ具スヘシ此地方官ハ地方官廳或ハ官廳ノ記録局ノ

紙幣會社所定

九

大藏省

類ナリ須ラク府縣諸廳ノ定則ニ從フテ其奥印ヲ受クヘシ

一會社定款ノ本紙并ニ扣トモ株主等ノ総連名ニテ頭取支配人等ニ通共ニ奥書ヲナスヘシ尤モ其文例ハ既ニ前ニ詳ナリ

一會社ノ役人上任轉任ノ度毎ニ其印鑑姓名ヲ紙幣頭ニ相届クヘシ其体裁ハ紙幣頭ノ定メタル會社役人上任規則ニ從フヘシ追加規則ハシテ

○公債證書預ケ方之事

紙幣會社ニテ「バンク」ノ商業ヲ始ムヘキ前ニ姓名記載公債證書ヲ出納頭ニ預クヘシ是ハ其會社ヨリ發行スヘキ紙幣ノ引當ナレハ其會社ノ元金ノ三分一即チ一萬七千圓ヨリ以上ノ高タルヘシ紙幣條例第七條第十六條第十九條ヲ参考スヘシ

若シ記載證書不足ノ節ハ利息札付公債證書ヲ差出シ記載證書ニ引替ヲ願ヒテ後之ヲ出納頭ニ預ケテ差支ナシ

此記載證書ノ裏面ニハ會社ノ頭取支配人ノ裏書

ヲ加へ此公債證書ハ信ヲ表スル爲ニ會社ヨリ  
出納頭ニ預ケ候間同人ノ姓名ニ御書替可被下  
候也ト認ムヘシ○於此大藏省ノ記録頭ハ右ノ  
裏書ヲ證據トシ新證書ヲ出納頭ノ姓名ニ書替  
ヲ發行スヘシ尤會社ヨリ引當トシテ預リタル  
趣ヲ書載スヘシ

右ノ手續ナレハ之ヲ簡便ニ所置セントテ謀リ紙  
幣頭ノ手ニテ會社ノ爲ニ此券ヲ採ルヘシ依テ  
會社ヨリハ引當ノ高ヲ利息札丹姓名記載ノ別  
ナク公債證書ニテ紙幣頭ニ差出シ記載證書ニハ  
前文ノ通りニ

裏書ヲナ書替預ケ方ノ手續ヲ紙幣頭ニ願フヘ  
シ○然ル時ハ紙幣頭ノ手ニテ證書ノ引替利札  
證書  
ヲ記載證書ニ書替記載證書ノ姓名  
并ニ預ケ方  
引替ユルナリヲ書替ユルトテ并ニ預ケ方  
出納ヲ盡ク取扱フヘシ○紙幣條例第十九條ニ  
掲タル心覺ヲ書記スルトモ會社ヨリ紙幣頭ニ  
願ヒテ代筆ヲナサシメテ差支ナシ  
此手續ニナス時ハ其會社ニテ大ニ手救ヲ省キ  
便宜ヲ得ヘシ

右ノ公債證書ヲ紙幣頭ニ差出ス時ニハ此證書ノ  
利息ハ何地ニテ請求度候ト云トテ紙幣頭ニ申

紙幣頭ハ公債

立置ヘシ

紙幣頭ニ此公債證書ヲ差出スニハ遠隔ノ地ハ郵便驛便ヲ以テ送ルニ差支ナシ○紙幣頭ハ公債證書ヲ落手セハ直ニ仮請取書ヲ其會社ヘ渡シ右ノ公債證書ヲ引替又ハ書替ノ後出納頭ニ預ケタル上ニテ出納頭ノ本請取書ヲ得之ヲ會社ニ渡スヘシ

會社ハ仮令通用紙幣ヲ發行セストモ其元金ノ三分一ハ是非トモ公債證書ニテ出納頭ニ預クヘシ公債證書ヲ預ケサル前ハ決シテ開業免狀ヲ

紙幣頭ヨリ其會社ニ渡サハルヘシ

○開業免狀ノ事

公債證書ヲ出納頭ニ預ケ畢リ紙幣定例ノ趣意ヲ悉ク履行シタル證據ヲ得ハ紙幣頭ヨリ改メテ開業免狀ヲ其會社ニ渡スヘシ紙幣條例此免狀第十八條ヲ得タルヲ會社ヨリ二月以上ノ間ハ世上ニ公布スヘシ

紙幣頭ニ見

三

大藏省

○開店ノ事

會社ハ右ノ開業免狀ヲ得タル上ニテ紙幣條例ニ  
許シタル通りニ「バンク」ノ商業ヲ經營スルコトヲ  
得ヘシ○右ニ舟火難盜難ヲ防クコトヲ第一ニ心  
掛ケ堅固ナル土藏ヲ取建テ又帳面勘定向ヲ嚴  
密ニナシ何時ニテモ紙幣頭ヨリ達シ次第ニ報  
告ヲ差出スニ差支ナキ様ニ心掛ヘシ

○元金ノ事

凡ソ紙幣會社ノ元金ハ人口三千人以上ノ地ニテハ  
五万圓以上タルヘシ又二萬人以上ノ地ニテ十  
万圓以上タルヘシ其以下ノ元金ニテ會社ヲ創  
立スル事ハ大藏卿ノ特命ニテ許可スルニ非レ  
ハ之ヲ許サス  
但人口三千人以下ノ地ハ二万五千圓以上ノ元  
金ニテモ創立スルコトヲ得ヘシ紙幣條例  
第七條



○元金月賦入金ノ事

紙幣會社ノ元金ハ開店前ニ是非トモ其半高ヲ株主等ヨリ會社ニ入金シ残りノ半高ハ之ヲ五ツニ割り毎月之ヲ入金スヘシ仮令ハ

某會社元金十萬圓

正月十五日	開店迄ニ入金高	五萬圓
二月十五日	迄ニ入金	一萬圓
三月十五日	迄ニ入金	一萬圓
四月十五日	迄ニ入金	一萬圓
五月十五日	迄ニ入金	一萬圓

六月十五日迄ニ入金 一萬圓

計 十萬圓

右ノ如ク開店ノ日ヨリ算シテ一ヶ月毎ニ入金スヘシ尤モ六ヶ月前ニ入金シ畢ラハ猶更會社ノ為ニハ便宜ナルヘシ可成丈ハ開店ノ時ニ総高ヲ尽ク入金シ畢ラハ尤モ最上ノ會社タルヘシ

○此入金ヲ以テ公債證書ヲ買求ヌテ出納頭ニ預ケ紙幣頭ヨリ紙幣ヲ請取リテ發行スヘシ

右ノ月賦ヲ株主等ヨリ入金シ會社ノ元金増加スルニ付其元金ノ實額ト紙幣額ノ計帳高ト相違

ナカラシムヲ專務トスヘシ故ニ元金ノ月賦入金濟迄ハ毎月其會社ヨリ元金集高證書ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ其文例即チ如左

元金集高證書

州 郡 紙幣會社ノ元金トシテ一萬一千円ノ第一回月賦ヲ株主等ヨリ會社ニ入金イタシ是迄ノ入金高一加算シ總高 萬千円ト相成候也

明治一年一月一日

支配人

會社ノ印

紙幣頭殿

明治一年一月一日書面ノ者余カ眼前ニ於テ調印シ誓ヲ致シ候也

地方官負

地方官廳ノ印

○元金増減ノ事

紙幣會社ノ元金ハ其會社定款ニ記載シタル制限  
高迄ハ増加スルヲ得ヘシト雖モ紙幣頭ノ承  
認ヲ得サレハ之ヲ公然トナス可ラス故ニ會社  
ノ株主等若シ元金増ヲナサレト決議セハ其趣  
ヲ前以テ紙幣頭ニ申立テ其許可ヲ得テ元金増  
集ノ手續ニ取掛リ其增高入金済ノ上會社ヨリ  
紙幣頭ニ元金増集證書ヲ差出スヘシ其文例左  
ノ如シ

○元金増集證書

州 郡 ノ 紙幣會社ノ元金ハ其

會社定款ニ書載シタル趣意ニ從ト一萬一千圓  
ノ高ヲ増加シ其増集高ハ盡ク株主等ヨリ之ヲ  
會社ニ入金イタシタルニ付現今會社ノ元金現  
額一萬一千圓ニ相違無之候  
右ノ證據トシテ調印シ誓ヲ致シ候也

明治一年一月一日 支配人

會社ノ印 紙幣頭殿

紙幣會社成規 紙幣頭殿

明治 年 月 日 書面ノ者余カ眼前ニ於テ調  
印シ誓ヲ致シ候也

地方官  
廳ノ印

地方官負

右ノ書面ヲ差出サハ紙幣頭ヨリ元金増集承認證  
書ヲ會社ニ與フヘシ會社ハ此承認證書ヲ得タ  
ル上ニテ始メテ元金増加ヲ公然トナシ公債證  
書ヲ預ケ通用紙幣ヲ請取ル手續ニ取掛ルヘシ

紙幣會社ハ又紙幣條例 第十條ニ從ヒ其元金ヲ減少

スルヲ得ヘシト雖モ紙幣頭ノ承認ヲ得サレ  
ハ其手續ニ取掛ル可ラス會社ノ株主等若シ其  
元金ヲ減少セント決議セハ其趣ヲ紙幣頭ニ申  
立其許可ヲ得テ減少ノ手續ニ取掛ルヘシ  
減少ノ手續ハ其發行紙幣ヲ紙幣寮ニ返上シ  
テ燒捨ノ手續ヲナシ其高タケノ公債證書ヲ  
出納頭ヨリ紙幣頭ノ手ヲ經テ取戻スヘキ用  
意ヲナシ又準備金モ之ニ准シテ減少スル手  
續ニ取掛ルヘシ  
右減少濟ノ上會社ヨリ元金減少證書ヲ差出ス

紙幣會社見

紙

紙幣

ハシ其文例如左

元金減少證書

州 郡

紙幣會社ノ元金ハ紙

幣條例第十三條ノ趣意ニ從ヒ三分二以上ノ株

主等ノ存意ヲ以テ元金ノ内ヨリ一萬一千圓

減少シタルニ付現今會社ノ元金現額ハ一萬

一千圓ニ相違無之候

右ノ證據トシテ調印シ誓ヲ致シ候也

明治 年 月 日

支配人

會社ノ印

紙幣頭殿

明治 年 月 日書面ノ者余カ眼前ニ於テ

調印シ誓ヲ致シ候也

地方官廳ノ印

地方官負

右ノ書面ヲ差出サハ紙幣頭ヨリ元金減少承認證

書ヲ會社ニ與フヘシ此承認證書ヲ得タル上ニ

テ始メテ紙幣ヲ返上シ公債證書ヲ取戻ス手續

ニ取掛ルヘシ

發行紙幣注文ノ事

紙幣會社ヨリ公債證書ヲ預ケ出納頭ノ本請取書  
ヲ落手セハ其會社ヨリ發行スヘキ紙幣ノ印額  
ヲ彫刻シ并ニ摺立ル事ヲ支配人ヨリ注文書ヲ  
以テ紙幣頭ニ申立ヘシ其文例如左

注文書

州 郡 紙幣會社ニ於テ紙幣  
條例ニ從ヒ 萬 千圓ノ紙幣ヲ發行イタシ  
度ニ付左ノ目錄ノ通ニ彫刻ヲ願フ

紙幣名稱	負數	金高
一圓ノ紙幣		
二、		
五、		
十、		
廿、		
五十、		
百、		
五百、		
合		

紙幣會社取見

合

大藏省

右發行紙幣ノ引當トシテ出納頭ニ預ケタル公債證書ノ現額ハ如左

公債證書ノ種類	利息		金高
	分	分	
	合		

右ノ趣謹テ奉願候也

明治 年 月 日

紙幣會社  
支配人

會社印

紙幣頭

殿

但右ノ注文高ニテ不足ノ節ハ公債證書ノ增額ヲナシ猶注文ヲ申立ヘシ其文例ハ前文ト同体ナリ只増注文増預ケト増ノ字ヲ加フヘシ紙幣頭ハ右ノ注文書ノ通りニ紙幣ノ印願ヲ彫刻シ摺立ヲナシ紙幣ニ大藏省ノ官印并ニ番号ト會社ノ番号トヲ兩ナカラ押シ之ヲ包ミ郵便飛脚便ニテ其會社ニ送ルヘシ

會社ハ又紙幣頭ヨリ案内狀ヲ落手シ何便ニテ何日頃何程ノ紙幣到着スヘシト云フヲ心得其日ニ至リテ案内狀通りノ紙幣ヲ何便ヨリ請取ラ

ハ其紙幣ノ負數金高等ヲ引合セ相違ナクハ請  
取書ニ社印ヲ加ヘ支配人ノ名印ヲ添ヘテ急更  
ニテ紙幣頭ニ送ルヘシ  
此請取書ハ紙幣寮ヨリ紙幣ノ包ニ封入シテ  
送ルニ付支配人ハ之ニ調印シ社印ヲ押ス而  
已別ニ請取書ヲ認ムルニ及ハス

○紙幣發行ノ事

紙幣會社ニテ前文ノ紙幣ヲ落手セハ支配人頭  
取ノ兩人一々紙幣ノ表面ニ自筆ニテ姓名ヲ  
記シ之ニ調印シテ後之ヲ世上ニ發行スヘシ  
他人ノ代筆代印等ハ決シテ不相成ト心得ヘ  
シ紙幣條例  
第廿二條

○旧紙幣焼捨并新紙幣請取方ノ事

紙幣會社ヨリ發行シクル紙幣退々ト手摩シ其  
紙面ニ垢付キ或ハ糜爛敗裂ニ及ハ之ヲ取戻

紙幣會社規則

第廿二條

紙幣條例



シ兼テ紙幣頭ノ定メタル旧紙幣焼捨ノ條規ニ從  
ヒ之ヲ紙幣寮ニ差出スヘシ追加規則ヲ其時支  
配人ヨリ一書ヲ添フヘシ其文例如左

州 郡 ノ 紙幣會社

本日 便ヲ以テ當紙幣會社ヨリ発行ノ紙幣  
中敗裂ノ分 萬 千 百圓ヲ差出ル其目錄ハ  
即如左

紙幣ノ名稱	員數	金高
一圓ノ紙幣		

二圓、		
五圓、		
十圓、		
廿圓、		
五十圓、		
百圓、		
五百圓、		
合		

右ノ紙幣ハ當會社ニ於テ新紙幣ヲ以テ引替タルニ相違無之候



ト共ニ燒捨所ニ立合ヒ實驗ノ上ニテ燒捨證書  
ニ調印スヘシ元モ此燒捨證書ハ二通ニ認メ本  
紙ハ紙幣寮ニ藏メ扣ノ方ハ之ヲ會社ニ藏ムヘ  
シ紙幣條例  
第廿四條  
右ノ立合ニハ大藏省ニ關係ナキ人ヲ撰ミテ會社  
ヨリ差出スヘシ  
右ノ燒捨濟ノ上紙幣寮ヨリ新紙幣ヲ共會社ニ送  
ルヘシ其手續ハ前ニ同シ尤モ新旧ノ引替ニ付  
別段注文書ヲ差出スニ及ハス

○公債證書利息請取方ノ事

紙幣會社ヨリ出納頭ニ預ケタル公債證書ノ利息  
請取方ノ義ニ付ハ僻鄙ノ會社ハ云ニ及ハス府下  
ノ會社タリ凡名代人ヲ命シテ其利息ヲ出納頭  
ヨリ請取ラシメテ差支ナキ趣ノ免狀ヲ年々紙  
幣頭ヨリ會社ニ與フヘシ之ヲ名代免狀ト名ク  
一体此名代免狀ハ紙幣頭ヨリ會社ニ與ヘ會社  
ヨリ出納頭ニ差出スヘキ筈ナレ凡其手数ヲ省  
ク為ニ紙幣頭ヨリ諸會社ノ分ヲ一纏ニナシテ  
出納頭ニ渡スヘシ

右ノ預ケタル公債證書ノ利息ハ何地ニテ請取ヘ  
 シト書込タル分ハ公債利息拂ノ規則ニ隨ヒ其  
 地ニテ拂フヘシト雖モ之ヲ書セサル分ハ盡ク  
 東京ニ於テ拂フヘシ故ニ會社ハ公債證書ヲ差  
 出ス節ニ利息拂ノ地名ヲ必ス書加ヘ置ヘシ  
 公債利息拂ノ期月ニ至ラハ會社ノ頭取ハ名代人  
 ニ委任状ヲ渡スヘシ此委任状ヲ持シタル名  
 代人出納寮或ハ出張所ニ至リテ此委任状ヲ示ス時  
 ハ出納頭ツノ社号等ヲ名代免状紙幣頭ヨリニ廻シタル  
 引合セ公債ノ金高ニ應シテ歩合ノ利息ヲ其首

ニ渡スヘシ此委任状ノ文例ハ即如左

名代委任状

州 郡 ノ 紙幣會社、發行紙幣  
 ノ引當トシテ出納頭ニ預ケ置タル公債證書ノ  
 利息當年分ヲ請取ルニ付此會社ノ頭取ハ此利  
 息ヲ請取ルヘキ名代人ヲ命シテ苦シカラサル  
 ノ趣ノ權ヲ紙幣頭ヨリ免許アリ  
 今拙者儀此會社ノ頭取タルヲ以テ右ノ權ヲ奉  
 戴シ茲 何地 何街 何丁目 何ノ誰  
 ヲシテ此會

式券ノ式見  
 大藏省

社ノ名代人タラシノ此會社ヨリ出納頭ニ預ケ  
置タル公債證書ノ利息ヲ出納頭ヨリ請取ルヘ  
キヲ命ス  
此名代人ハ即チ此會社ノ名代ナレハ利息請取  
方ニ付テハ諸事其權内ニアルヘシ  
右ノ證據トシテ拙者ノ姓名ヲ記シ社印ヲ加ヘ  
候也

明治 年 月 日

會社  
ノ印

紙幣會社  
頭取

○紙幣會社報告ノ事

紙幣會社ハ一ケ年中五度以上其會社商業ノ實際  
報告ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ紙幣條例第三十四條此報告  
雛形并ニ文例ハ紙幣頭ノ定メタル本裁ニ從フ  
ヘシ  
此餘ノ諸報告ニ付紙幣頭ヨリ兼テ觸立タル報告  
書面ノ覺書アリ會社ハ須ク此覺書ヲ用取ノ壁  
上ニ掲ケ置ヘシ追加規則ヲ  
参考スヘシ

用紙ノ事

紙幣會社ヨリ可差出會社定款創立證書取締役誓詞實際報告等ノ如キ諸書類ノ紙幅并ニ体裁凡都テ一樣ナランコトヲ要トシ紙幣寮ニテ皆之ヲ上木シタリ故ニ會社ハ創立ノ初メニ此紙類ノ印紙ヲ紙幣寮ヨリ申受ケテ用フヘシ若シ用ヒ畢ラハ再ヒ申受テ苦シカラス但シ急務ニ臨ミテ印紙有合セサル時ハ尋常ノ紙ヲ印紙ノ寸法ニ裁チ切り可成丈其体裁ニ倣テ認ムヘシ

○申合セ規則ノ事

紙幣會社ヲ創立スル上ハ取締役等ノ衆議ニテ其社中申合セ規則ヲ取定ムヘシ尤モ社中ノミノ申合セニテ公然タル法則ト見做ヘキニ非サレハ之ヲ紙幣頭ニ差出スニ及ハス故ニ條中ノ増減モ衆議ニ任セテ差支ナシ但シ紙幣條例ノ趣意一違背セサル様ニ心掛ヘシ今茲ニ申合セ規則一般ノ文例ヲ左ニ掲ク

州 郡

紙幣會社申谷規則

○取締役撰舉ノ事

第一條

當紙幣會社ノ株主等ノ集會ニテ新取締役ヲ撰  
 舉スル事ハ毎年正月十一日朝第十字ヨリ第四字  
 迄ノ間ニ當會社ニ於テ之ヲ行フヘシ尤此集會  
 ノ日限趣意柄ハ一ケ月前ヨリ當會社ノ支配人之  
 ヲ公布スヘシ  
 取締役等ハ又此集會ノ一ケ月前ニ株主等ノ内

ヨリ三人ヲ撰ミテ之ヲ撰舉ノ裁判役ト定メ置  
 ヘシ此裁判役ハ撰舉ノ議論ヲ決断シタル上ニ  
 テ其撰舉ノ始末并ニ撰舉シタル新取締役ノ姓  
 名ヲ支配人ニ報告スヘシ

第二條

支配人ハ右ノ裁判役ヨリ撰舉ノ報告ヲ得ハ直  
 ニ此事ヲ當會社ノ日記ニ録シ右ノ撰舉ニ應シ  
 タル新取締役ニ通達シ當會社ニ於テ集會ノラ  
 シヲ申込ムヘシ  
 此集會ノ當日ニ至リテ右ノ取締役等過半出席

セサル時ハ追テ過半ノ人負出席スル迄會議  
延スヘシ

第三條

毎年限舉ノ定日ニ當リ故障アリテ集會スル  
ヲ得サル時ハ紙幣條例第十條ノ趣意ニ從ヒ其  
事故ヲ公布シ追テ集會ノ日限ヲ定ムヘシ但シ  
裁判役ノ選舉裁判役ノ報告新取締役ノ選舉等  
ハ都テ此規則ノ第一條第二條ニ從フヘシ

○會社役人ノ事

第四條

當會社ノ役人等ト稱スルハ

- 頭取 一人
- 支配人 一人
- 勘定方 一人
- 帳面方 一人

書記役等都テ會社ノ業体取扱ニ關係シタル  
人々ヲ云ナリ

第五條

當會社ノ頭取ハ退役轉役放免ノ外ハ奉職ノ年

株式會社規則

七

大藏省



限中必ラス勤仕スヘシ  
若シ取締役或ハ頭取欠負ノ時ハ取締役ノ衆議  
ヲ以テ代任權任ノ者ヲ命スヘシ

第六條

支配人并ニ以下ノ役人等ハ取締役ノ衆議ニテ  
命シタル年限中奉職スヘシ

第七條

支配人ハ當會社ノ有金積金其餘大切ノ物品ヲ  
預リ其責ニ任ス可シ又取締役ノ差圖ニ任セ或  
ハ其差圖ヲ受タル人ノ沙汰ニ任セ之ヲ出納

スヘシ

第八條

頭取ハ取締役或ハ支配人ヨリ引渡タル金銀并  
ニ諸物品ヲ引受ケテ預リ其責ニ任スヘシ又取  
締役ノ差圖ニ任セ或ハ其差圖ヲ受タル人ノ沙  
汰ニ任セテ之ヲ出納スヘシ

第九條

勘定方ハ支配人其外ヨリ時々引渡シタル金銀  
并ニ諸物品ヲ受持チテ其責ニ任スヘシ又取締  
役ノ差圖ニ任セ或ハ其差圖ヲ受タル人ノ沙汰

ニ任セテ之ヲ出納スヘシ

第十條

當會社ノ諸役人等ハ其職務ヲ廉直ニ勤ムルノ證據トシテ奉職ノ節愷ナル請人兩人以上ヨリ身許請狀ヲ取締役ニ差出スヘシ若シ此役人等ニ過失アラハ取締役ハ其請人ニ迫リテ相當ノ罰金ヲ當人ヨリ取立テ以テ當會社ノ損耗ヲ償フヘシ

○社印ノ事

第十一條

取締役ノ衆議ニテ決定シテ採用シタル當會社ノ印章ハ即チ如左

會社ノ印鑑

○地面家庫讓渡ノ事

第十二條

地面。田畠。山林。家屋。土藏ノ類ヲ引取り或ハ讓渡

フ節ハ當會社ニ於テハ取締役ノ差圖ニ從ヒ社  
印ヲ押シテ取扱ヒ頭取支配人ノ中ニテ之ニ調  
印スヘシ

○元金増ノ事

第十三條

當會社ノ定款ニ從ヒ元金ノ高ヲ増カセント衆  
議ニテ決定スル時ハ取締役ヨリ株主等ニ増株  
書込ノ事ヲ通達スヘシ  
元金増ノ節ハ株主等ハ銘々ノ株數ニ應シテ新

規ノ増株ヲ所持スルノ權アルヘシ  
若シ株主等ノ中ニ此増株ヲ書込ムコトヲ怠ル者  
アラハ取締役ハ衆議ニテ此殘株ノ處置ヲナ  
ヘシ

○會社業体ノ事

第十四條

一般ノ祝日并ニ休日ノ外ハ當會社ハ毎朝第  
字ヨリ夕第 字迄ノ間商業ヲ取扱フヘシ  
當會社ノ頭取支配人并ニ取締役一人ニテ別ニ

為替掛ヲ勤ムヘシ是ハ諸為替手形并ニ證券類  
ノ取引賣買ノ差圖ヲナシ定式ノ集會毎ニ其取  
扱振ヲ仲間一同ニ報告スヘシ尤此為替掛ノ取  
締役ハ六ヶ月毎ニ撰舉ニテ交代イタス事アル  
ヘシ

○記録ノ事

第十五條

當會社ノ定款并ニ取締役撰舉ノ儀ニ付裁判役  
ヨリ差出タル報告或ハ取締役定式ノ集會臨時

ノ會議等都テ當會社ニ關係ノ書類ハ之ヲ記録  
ニ綴込ミ頭取ノ末尾ニ調印シ支配人之ニ連  
印シ之ヲ後日ノ證據ニ藏置ヘシ

○株讓渡ノ事

第十六條

當會社ノ株ハ紙幣條列ノ趣意ニ從ヒ當會社ノ  
元帳ニ引合セタル上ニテ讓渡スルヲ得ヘシ此  
元帳ハ諸株證券ノ賣買ヲ取扱フ所ニ備ヘアル  
ヘシ

當會社ノ株ハ取締役ノ許可ヲ得サレハ之ヲ他人ニ讓渡ス可ラス株手形ニ此趣ヲ記載スヘシ此株讓渡ノ儀ハ取締役ノ許可ヲ得會社ノ元帳ニ引合セタル上ハ何時タリモ差支ナシ尤モ別段ノ約定ナキ時ハ當會社ヨリ割渡スヘキ利益金ハ新故ヲ論セス其株ノ名前人ニ渡スヘシ

第十七條

當會社ノ株手形ニハ頭取并ニ支配人之ニ調印シ此株ハ會社ノ元帳ニ引合セノ上之ヲ讓渡ス事ヲ得ヘシト記載スヘシ

此株讓渡ノ節ハ株手形ヲ元株主ヨリ會社ニ請取リ改メテ新株手形ヲ新株主ニ相渡スヘシ

○會社ノ入費ノ事

第十八條

當會社日用ノ雜費ハ支配人之ヲ仕拂ヒ月毎ニ共遣拂明細帳ヲ取締役ニ差出スヘシ

○約定ノ事

第十九條

諸約定書類手形類并ニ請取書類ニハ當會社ノ  
頭取支配人ノ内ニテ之ニ調印スヘシ

○検査ノ事

第二十條

取締役ハ三ヶ月毎ニ其内ヨリ一人ヲ撰舉シテ  
検査役タラシムヘシ此検査役ハ當會社ノ有高  
ヲ計算シ勘定ノ差引ヲ改メ諸帳面ノ締高等ノ  
正直ナルヤ否ヲ検査シ又當會社商業ノ實際情  
ニ立行クヘキヤ否ヲ検査シ其顛末ヲ集會ノ節

取締役一同ニ報告スヘシ

○集會ノ事

第二十一條

取締役其外ノ役々定式ノ集會ハ毎月  
ルヘシ  
臨時ノ集會ノ頭取或ハ支配人ヨリ通達シテ來  
集ヲ乞フヘシ

○決議ノ事

第二十二條

頭取并取締役ノ會議ニテ事務ヲ論決スル時ニ  
ハ連席人數半以上ノ説ヲ以テ衆議ト定メ之ニ  
從フヘシ

第二十三條

此申合規則ハ取締役三分二以上ノ論ニ從フテ  
之ヲ改正スルヲ得ヘシ

○紙幣會社ノ頭取支配人取締役等一同ノ心得  
トシテ申論ス諸件

元ソ紙幣會社ノ頭取支配人取締役ニ選舉セラレ  
人々ハ紙幣條例ノ趣意ヲ詳悉シ其商業ノ取  
扱振ニ熟達スヘキヲ論ヲ待タスシテ明ナリト雖  
モ今余紙幣頭ノ職ヲ奉シ紙幣會社ヲ總管スル  
ヲ以テ茲ニ數件ヲ揭示シ其會社ノ商業ヲ取扱  
フ為ニ聊ノ裨益ヲナサントヲ望ム

紙幣會社記錄ノ事

紙幣會社ヨリ紙幣寮ニ差出タル會社定款ノ如ハ  
之ヲ會社ノ記錄ニ寫留メ取締役ノ選舉會社ノ  
申令規則諸役人ノ選舉取締役選舉ニ付裁判役  
ノ報告取締役ノ誓詞諸役人身元請狀等其餘都  
テ後日ノ證據トナルヘキ書類ハ尽ク之ヲ記錄  
ニ寫留メ其會社ノ創立ヲ明瞭ニ他人ニ示スヘ  
キ様ニ心掛ヘシ尤モ其寫留ニハ頭取支配人ノ  
調印アルヘシ且ツ其本紙類ハ大切ニ之ヲ藏  
置ヘシ

商業取扱ノ事

紙幣會社ノ商業ヲ取扱ニハ丁寧ト遲滞ナキトノ  
兩條ヲ大眼目トスヘシ帳面類ハ毎日差引ヲ附  
ケ有高ト帳面高トニ相違アル可ラス會社ノ檢  
査役ハ常ニ此處ニ注目シテ檢査シ其狀實ヲ取  
締役一同ニ報告シ其顛末ヲ記錄ニ載セ置ヘシ  
頭取ハ毎年選舉スヘシ尤モ選舉ノ衆議ニヨリテ  
重年ヲ命スルヲ有ヘシ其外支配人以下ノ役々  
ハ取締役ノ衆議ニテ進退スヘシ但シ一人ノ節  
槪ナル請人兩人以上ノ調印ニテ其者ノ身元請



状ヲ取置キ若シ當人ニ過失アル時ハ償立  
ノ請人タラシムヘシ

貸附金ノ事

貸附ケ金ハ其利分ヲ前ニ引去ルヘシ尤モ慥ナル  
見据ト引當アラハ利分跡拂ヲ肯スルヲリト  
雖凡可成丈ハ前拂ニ取ルヘシ且ツ貸附ノ日限  
ハ短キ程會社ノ爲ニ便ナリト心得ヘシ  
敗裂糜爛ノ紙幣ハ決シテ之ヲ貸附等ニ用フ可ラ  
ス有金ノ有無ニ拘ラス之ヲ新紙幣ニ引替テ渡  
スヘシ

金子ヲ實地ニ請取ラスシテ證文ノ書替ヲ承知致  
ス可ラス手数ヲ經ル迄ニテ更ニ會社ノ益ナカ  
ルヘシ帳面上ノ益ノミニテハ實地ニ於テ其効  
ナシト知ルヘシ日限ニハ急度返済金ヲ受取り  
テコソ實地ノ利益ヲ見ルヲナリ

貸附金ハ大高ヲ一口ニ貸附ル可ラス須ラク小高  
ニテ數口アルヲ良トスヘシ尤モ事宜ニヨリテ  
ハ一口ニ大高ヲ貸シ附ケ其利益ヲ得ルヲアル  
凡遂ニハ其借主ノ爲ニ會社ヲ存続ス一至ル  
ノ恐レアリ貸附ノ秘事ハ未前ニ察シテ退

スルニアリト知ルヘシ  
 元金高ノ上ニ一回一錢タリ凡多ク貸附  
 之ハ即チ是其會社ノ損失ナリ若シ事ヲ誤ル  
 テアラハ之ヲ取扱タルモノ會社ノ株主等ニ對シテ申訳  
 アルヘカラス故ニ貸附金ハ内端ニ貸ス  
 ヲヨ眼目トスヘシ  
 出入ノ得意先ハ都テ信切ニ取扱フヘシ  
 得意先ノ人々ノ繁昌ハ即チ其會社ノ繁昌ナリ  
 但シ會社ノ秘事ヲ得意先ニ知ラシム  
 可ラス却テ彼ニ謀ラル、ノ端トナルヘシ

若シ貸附先ニ付テ疑ヲ懷ク  
 一アラハ貸附ヲナス可ラス  
 之ヲ断ル方會社ノ為ニ益アルヘシ  
 決シテ果断ヲ行フ  
 一ナカレ又得意先ノ人ニ信用シ難キ  
 一アラハ速ニ之ヲ断リテ取引ヲナス可ラス  
 彼ノ術中ニ陥リタルト見セ掛ケ  
 此方ノ利益ヲ占ムル  
 一奇道ハ商業上ニ於テアル  
 一ナレ凡大抵ハ損ヲ招ク  
 一多ク利ヲ得ル  
 一必ナシト知ヘシ  
 貸借ノ事ニ付他人ノ策ヲ信用スル  
 一勿ル、一謹直ニ取扱フヘシ  
 或ハ政事上ノ權脅サ

非常ノ利ニ惑ヒ自己ノ私慾ニニ至社ヲ謬ル  
アリ一体紙幣會社ハ日本全州ノ爲ニ創立シタ  
ル大切ノ會社ナレハ自カテ其重任タルヲ顧  
ミテ此般ノ謬ヲ醸スヲ勿レ

役員ノ事

會社ノ役員等へ渡スヘキ俸給ハ相應ニ之ヲ與ヘ  
會社ノ財ヲ鈔取ラス凡衣食ニ給スルニ足ル程  
ニスヘシ然ラサレハ其役員ヲシテ十分ノ力ヲ  
尽サシムルヲ得サルヘシ若シ其俸給ヨリ以  
上ノ財ヲ散スル役員アラハ速ニ其職ヲ放免セ

ヨ假令其財ノ来リテ生スル所明瞭ナリ凡尚之  
ヲ放免スヘシ他日必ラス禍ヲ惹クノ基トナル  
ヘシ凡ソ入ル所ヨリ費ス所ノ多キ人ハ決シテ  
善良ナル會社ノ役員ト見做スヲ勿レ

元金ノ事

會社ノ元金ハ必ラス實額タルヘシ虚額タル可ラ  
ス故ニ元金ハ貸ス為ノ金ナリ借ル為ノ金ニ非  
ス株主ヲシテ能ク此理ヲ曉ラシムヘシ紙幣頭  
ハ其威權ヲ以テ手段ヲ尽シ會社ヲシテ必ラス  
虚名ノ元金ナキ様ニナサシムヘシ是會社ヲ拘

東アールニ非ス會社ノ堅固ヲ謀リテノ事ナリ  
諸務取扱ノ事

紙幣會社ノ法ハ世挙テ之ヲ良法ナリト稱ス故ニ  
會社ノ人々ハ此榮名ニ負カサシムルヲ心掛ケ  
以テ其事務ヲ處分セハ必ラス其實効ヲ得ヘシ  
一度其實効ヲ得ル時ハ獨リ其會社ニ利益アル  
而已ナラス日本全州ノ裨益トナリ其會社ノ榮  
名偏ク天下ニ滿ツヘシ又其處分ヲ謬リテ不幸  
ヲ釀サハ遂ニ衆人ノ怨府トナリ世上ノ誹謗ヲ  
招ク一必然ナリ此榮辱利害ヲ顧ミテ事務ヲ處

分セヨ

會社ノ役人ハ勤メテ會社ヲ堅固ニナスヲ心掛  
ケ其元金ヲ保全シ其積金ヲ貯蓄シ将来第一ノ  
家大ナル會社タランヲ謀ルヘシ

會社ノ帳面ヲ衆目ニ示シテ贊稱セラレ諸人ノ為  
ニ信用セシレ依頼セラル、ノ策ハ他ナシ只其  
積金ヲ多クスルニアル而已此理ヲ辯セハ會社  
ノ利益ヲ分割スルニ臨ミ寧口株主等ノ望ミニ  
十分ナラスモ積金ヲ多スルヲ注意ヘハシ  
會社ノ事務ヲ處分スルニ當リテハ瀕ラハ廉直公

平ナリ争ヲ主トスベシ奇道ヲ用ヒテ非常ノ大  
利ヲ貪ルヲ勿レ只々紙幣條例ヲ取トシ假令  
本訥ナル會社ト云ハル、トモ理財ニ巧ミナル  
會社ト云ハル、ト勿レ理財ニ巧ミナル會社ハ  
大抵狡猾ニ非カレハ必ラス虚唱ナル會社ナリ  
決シテ不朽ノ信ヲ得ルヲ能ハス  
會社ヨリ發行ノ紙幣ハ永久ニ通用スヘシト思フ  
ヘカラス速ニ之ヲ正金ニ引替畢ラント祈望ス  
ヘシ抑モ近年更始ノ際萬々止ラ得サルノ時期  
ニ遭ヒ政府ヨリ始メテ金札ヲ發行シ姑ク之ヲ正

金ニ代用スト雖凡本是レ政府ノ素意ニ非ス故  
ニ政府ノ會計其條規ヲ履行スルニ至ラハ他日  
必ラス之ヲ引替畢ルヘシ此際ニ臨マハ會社ノ  
紙幣モ亦尽ク引替畢リテ之廢止センヲ勿論ナ  
リ故ニ政府ノ金札ト會社ノ紙幣トヲ以テ世上  
ノ商賣ニ通用スル間ハ政府ト會社ニテ日本全  
州ノ人民ニ債ヲ負ヒタル事ト心得一日モ早ク  
之ヲ拂ヒ返シ其借券ナル金札紙幣ヲ廢止セン  
ヲヲ希フヘシ  
右ニ付會社ハ出納寮ニ預ケタル公債證書ノ利息

ヲ正金ニテ請取ラハ之ヲ以テ発行ノ紙幣ヲ引  
替ヘ効メテ萬人ノ信ヲ得終ニハ全州ノ理財會  
計ヲ挽回スルノ裨益タラシクヲ欲セヨ然ル時  
ハ日本人民ニ對シテ大切トナリ豈愉快ナラス  
ヤ豈名譽ナラスヤ

今ヤ世上皆コノ紙幣會社ノ創立ニ注目シ其方法  
ノ善良ナルヲ知り其発行紙幣ノ便ナルヨリ遂  
ニ政府ノ金札ニ勝ル可シト稱セリ願クハ此贊  
稱ニ負クナカレ

紙幣頭ノ願フ所ハ此紙幣法ヲ以テ會社ノ利益ヲ

起シ全州ノ人民ヲ裨益シ富國理財一助タラ  
ンナリ是即チ政府ノ祈望スル所ナリ而シテ  
之ヲ実行スルハ會社ノ役人ノ心掛ニアル而已  
頭取支配人取締役タラシ人ハ薦ト此情實ヲ會  
得セヨ

紙幣頭

紙幣頭

三

紙幣頭

○紙幣會社役人上任規則

大藏省 紙幣寮

明治 年 月 日

諸紙幣會社并ニ當紙幣寮トノ往復其外ニ謬誤  
ヲ生セサランニハ諸會社ノ役人等轉任ノ度毎  
ニ之ヲ當寮ニ報告スルヲ緊要ナリトス會社  
新任ノ役人等ノ調印ニテ書面ヲ差出ス時當寮  
ニ於テ其役人ノ姓名華押印鑑ヲ知リス又上任

ノ事ヲ知ラスシテハ大ニ不都合ヲ生スヘシ於  
 此左ノ規則ヲ履行セシム  
 一 諸紙幣會社ヨリ當寮ニ差出スヘキ諸書面ニ調  
 印スヘキ會社役人ノ姓名華押印銀ヲ前以テ當  
 寮ニ報告ナキ時ハ一切其役人ノ調印シタル書  
 面ヲ取用ヒザルベシ  
 一 當寮ヨリ諸會社ヘ達スヘキ書面ハ上任ノ報告  
 ヲ以ニ承知シタル役人ヘ向ケテ書送スヘシ  
 一 上任ノ報告ハ他ノ報告書ト体裁ノ異ニシ會社  
 ノ印ヲ加ヘ可成ハ前任新任ノ両印ヲ備フヘシ

一 上任ノ報告ハ左ノ書体ニ從ヒ一様ナルヲ良  
 トスヘシ

紙幣頭



州 郡 紙幣會社

明治 年 月 日

當 月 日 義ハ當紙幣會社ノ頭取

ニ選ハレ 義ハ支配人ノ命セラレ其

華押印鑑ハ左ノ通ニ候

元頭取

元支配

新頭取

新支配人

紙幣頭取

會社印

○紙幣會社ヨリ差出タル敗裂紙幣ノ引替并ニ燒捨ノ條規

第一條

紙幣會社ヨリ引替ノ為ニ紙幣寮ニ差出スヘキ敗裂紙幣ハ五百圓以上ノ高タルヘシ尤モ百圓宛ヲ一包トナスヘン

第二條

敗裂紙幣ノ名称ヲ分チテ之ヲ別々ニ束テ其上ニ高ヲ記シ會社ノ頭取并ニ支配人ノ姓名調印ノ處

會社規則

共

大藏省

ヲ裁切ルヘシ  
右ノ通ニ致サ、ル紙幣アラハ、之ヲ當察ヨリ其會社ニ差戻スヘシ尤モ其入費ハ會社ヨリ出サシムヘシ  
切々ニ敗裂シタル紙幣アラハ會社ノ役人之ヲ集メテ糊附ケニナシテ之ヲ差出スヘシ

第三條

敗裂シタル紙幣ヲ其會社ニ持參スル人アラハ會社ノ役人ハ能々其金高ヲ記シタル名稱ノ所ヲ改メ之ヲ引替ヘ遣ハスヘシ  
又令敗裂シタル

紙幣ノ切ニ不足アルニ後告トナラザル證アラハ常ニ之ヲ引替ユヘシ若シ後害トナルノ恐アラハ此切ニ集リテ全紙トナル迄之ヲ會社ニ止メ置ヘシ

第四條

紙幣條例第廿四條ニ從ヒ敗裂紙幣ヲ燒捨ル時會社ノ立合證人ニハ大藏省ニ關係ナキ者ヲ命スヘシ

第五條

右ノ包ミハ東京大藏省紙幣頭ニ直宛ニシテ當

寮ニ差出シ其費用ハ會社ヨリ拂フヘシ尤モ別  
ニ一書ヲ添ヘ右包ノ入筒ヲ明細ニ記シ火燒給  
ノ立合ヲ致ス者ノ姓名并ニ其替トノ請  
取ヘキ新紙幣ノ名稱何圓ノ紙幣ニシテモ記載ス  
ヘシ

廢爛并ニ敗裂ノ舊紙幣ハ度々之ヲ引替ヘ新紙  
幣ヲ発行スル事會社ノ為ニ利益アルヘシ會社  
役人ハ能々此理ヲ會得スヘシ

明治十一年一月一日東京大藏省ニ於テス

紙幣頭

○紙幣條例ノ趣意ヲ履行シ諸紙幣會社ヨリ可  
差出報告并ニ書面ノ覺

○紙幣頭ニ可差出書面

第一 會社實際報告

是ハ毎年二度以上紙幣頭ヨリ送シタル日限  
マデノ商業ノ模様ニ付其實際ヲ記シ右ノ送  
ヲ落手シタル日ヨリ五日ノ内ニ此實際報告

ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ  
報告ノ文例ハ紙幣案ヨリ発行シタル印紙ノ  
例ニ從フヘシ

### 第二 會社實際別段報告

是ハ紙幣頭ノ考察ニテ某紙幣會社ノ實際ニ  
付尚明細ノ情實ヲ知ルヲ緊要ナリトセハ  
其會社ヲシテ此報告ヲ差出サシムヘシ尤モ  
其會社ハ右ノ達ヲ落手シタル日ヨリ五日ノ  
内ニ此別段報告ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ

### 第三 會社利益金割合報告

是ハ會社ニ於テ當年ノ利益金ハ元金一株ニ  
付何圓何錢ノ利益アリトノ割合ヲ株主一司  
ニ公告シタル高ヲ記シ又右ノ割合ノ上ニ出  
タル餘金ノ高ヲ記シ右ノ公告ヲナシタル日  
ヨリ十日ノ内ニ紙幣頭ニ差出スヘシ

### 第四 會社實際報告刊行見本

是ハ會社ニ於テ實際報告ヲ刊行スル時ニ其  
刊行本ト共ニ上木ノ具書ヲ添へ實際報告  
差出タル日ヨリ後成ヘキ丈急速ニ差出ヘシ

第五 株主姓名表

是ハ會社ノ株主等銘々ノ姓名宿所并ニ所持ノ株數ヲ一々ニ記載シ毎年六月十日ニ差出スヘシ

第六 取締役誓詞

是ハ會社ニテ取締役ヲ選舉シ之ヲ命シタル度毎ニ其人ニ誓詞ヲ記サセ直ニ之ヲ差出スヘシ

第七 會社役人上任報告

是ハ會社ノ頭取并ニ支配人ヲ選舉シ之ヲ命

シタル度毎ニ新任ノ者ノ華押印鑑ヲ具シ會社ノ印ヲ加ヘ旧任ノ者モ亦之ニ調印シ右ニ任後速ニ之ヲ差出ス可シ

第八 會社元金増減申立

是ハ元金増減ノ義ヲ紙幣頭ニ申立其義認ラ得テ後ニ増減ヲ實地ニ取行フヘシ紙幣條例第十條

第九 會社鎖業并分散ニ付株主等見込申立

是ハ會社ヲ鎖シ或ハ會社ヲ分散スルニ付掛ル前直ニ之ヲ差出スヘシ紙幣條例第四條

第十

鎖業或ハ分散申立刊行見本

是ハ可成丈速ニ差出スヘシ紙幣條例第四十

○出納頭ニ  差出書面

第一

發行紙幣平均高并ニ紙幣ニ換サル元金平均  
高申立

是ハ毎年正月并ニ六月ノ朔日ヨリ十日迄  
内ニ諸紙幣會社ヨリ出納頭ニ差出スヘシ

右ノ規則ニ從テ諸紙幣會社ヨリ報告并ニ申  
立ノ書面ヲ差出スヘシ且ツ心得トシテ此覺  
書ヲ會社ノ壁上ニ掲ケ置ヘシ

明治 年 月 日 東京大藏省ニ於テス

紙幣頭

會社所天  
三  
九 滯 州

